

平成21年度学校評価表(評価項目・評価の観点)

中間評価

評点 5: 十分 4: ほぼ十分 3: どちらともいえない
2: やや不十分 1: 不十分

*「評価項目」の数字は、重点目標の項目番号。

領域	対象	評価項目	評価の観点	中間評価(成果と課題)	評点	具体的な改善策・向上策
教育活動	教育課程	(1) 教育課程研究とコース制の充実	生徒の要望や進路状況に応じたカリキュラムの研究・検討を行い、コース制の改善を図っているか。	コース制については見直しを含めた議論を行い、ビジョン委員会に検討をゆだねた。教育課程については、選択科目の名称変更・選択講座の帯の変更などを行い、来年度の教育課程の決定を見た。	4	さらにコース制の充実を図る策を検討する。また、生徒の希望・実態に合う科目設定を検討する。
			学習指導要領改訂を見通した教育課程の研究・検討を行っているか。	新学習指導要領に基づく教育課程の作成に着手した。	3	新課程について、さらに研究・検討を深める。
	学習指導	(1) 基礎基本の定着と個の興味関心に応じた指導	授業担当者は、基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組んでいるか。	講座別授業では、個別指導がしやすく効果を上げているが、クラス別一斉授業では、個々の指導にまで手が回らない状況もある。	3	授業マナーの改善を促しながら、一斉指導と個別指導のバランスを図り、繰り返し基礎の定着に取り組んでいく。
			習熟度別授業と個別指導の充実	授業担当者は、生徒の要望や理解度を把握し、習熟度別授業、個別指導の充実を図っているか。	4	授業に参加すればよいと思っているだけの生徒に対して、意欲を高める指導を行いたい。また、授業だけではなく、補習や個別の課題等も取り入れていく。
			学習目標の明確化	明確な学習目標を設定し、年間を見通した計画の中で、1時間ごとの授業への取り組みを指導しているか。	4	授業中やHR掲示などを使っての授業マナーの改善の呼びかけを今後も繰り返し実施して、意識の向上を図っていく。
			授業評価による授業改善	授業アンケート、定期考査等を通じ、生徒の理解、関心の度合いを図りながら授業改善に努めているか。	3	今年度は授業アンケートを2学期後半に行い、生徒の授業に対する意識や関心の度合いを把握し、さらに改善向上に努める。
	進路指導	(2) 3年間を見通した計画的な進路指導	学年ごとの具体的な指導目標を設定し、生徒一人一人の進路相談の充実を図っているか。	1年にジョブカードの普及を兼ね進路学習に取り組むも、興味関心に合致しない面があった。2、3年生は例年通りの取り組みができた。	3	1年に対する進路学習の体系化の研究が必要である。
			多様な進路希望の実現と職業理解の促進	キャリアガイダンスや職場体験をとおしての職業理解の促進を図っているか。	3	3年の就職希望者に対しては、よりきめの細かい指導を行い、就職内定できるようにしていきたい。
	生徒指導	(3) 基本的な生活習慣の確立	全職員が一致して生徒の指導に当たり、集団生活のマナー遵守やルールの理解を指導しているか。	授業態度改善の取り組み、全職員の当番制による昼休みの校外巡視を行うも、問題行動は減らない	4	問題行動の処理に追われているのが、現状であるが、事案発生を未然に防ぐような啓発活動に力を入れたい。
			生徒相談体制の充実	生徒相談体制を充実させ、多様な悩みを持つ生徒の支援を図っているか。	担任と連絡を密にししながら、生徒支援に努めている。学年も生徒とのコミュニケーションを大事にしている	4
		メディアリテラシーの習得	携帯電話やIT利用の、ルールやマナーの指導を図っているか。	ホームルームを通して注意喚起。学年も取り組んでいるが、一部の生徒にマナー違反が見られる。	4	映像資料も利用しながら、情報機器の安易な使用に伴うトラブルや危険について啓発する。
クラブ会	(3) 自主的、主体的に行動する生徒の育成	生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、規範意識・責任感・自治能力を育てているか。	文化祭を無事開催することができた。次期生徒会発足へ向けての取り組みに力を入れたい。	3	新旧生徒会執行部のスムーズな引継ぎができるよう指導し、活動が停滞しないようにする。クラブ活動の活性化。	
学校運営	組織運営	(1)(2)(3) 学校評価活動の充実	学校評価活動を通して、教育活動の向上・改善を図っているか。	・各行事ごとに反省のアンケートをとり、次年度への課題を明確にするように努めている。	4	・教育懇談会、学校評議員連絡会、学校評議員個別聴取、および生徒アンケート等により、広く意見を聴き学校評価活動の充実を期したい。
		(1) 情報提供	HP等を通じ、本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供をしているか。	・HPは内容の充実と迅速な情報公開に努めている。地域高校として地域との情報交換に努めたい。	4	・HPのさらなる充実と、紙媒体を利用した情報発信にも努めていきたい。
		(1) 意見交換と反映	地域の声を聴き、教育活動に反映しているか。	・本年度も地域モニターを委嘱した。(8月)その声を本校教育活動に反映していきたい。	3	・今後予定されている教育懇談会等を活用していきたい。
	地域連携	(1)(2) 教育力の活用	地域の教育力の活用を推進し、生徒の学習意欲を引き出しているか。	手話講師の活用、読み聞かせ、バルーンアート等総合的な学習の時間で、社会人講師活用が計画通りなされた。進路体験講話も予定通り実施された。	4	・波田町教育委員会、波田町中央公民館等と連携しながら、さらに地域とのつながりを深める活動を伸ばしていきたい。
		(2) 授業・学習指導法の改善	授業・学習指導法の改善を図るための、研修会及び公開授業・研究授業等がなされているか。	・公開授業(校外向け、職員向け)を実施した。(6月) ・本校卒業大学生の教育実習(6月、数学)があり、本校職員も良い研修になった。	4	・本校職員同士が互いの授業を参観することで、学習指導法の改善に努めていきたい。また、更なる取り組みが必要である。
	校内研修	(1)(2)(3) 人権意識の高揚・生徒の理解	職員の人権意識の向上が図られているか。多様な悩みを抱える生徒の理解や支援に結びついているか。	・全校一斉の人権学習は一定の成果があったが、日常の中で生徒の人権を守る意識はまだ低い ・「発達障害等の問題を抱えた生徒への対応・支援」についての研修会を行った。(9月)	4	・人権通信の発行や総合の時間と連携して啓発していく。 ・可能な限り職員研修の機会を増やし、具体的な事例に沿った内容の研修を行ってきたい。